

ABCアナウンサー
堀江政生の

Sinfonia
Hour



シンフォニア・アワー

クラシックの意外な裏話や、ザ・シンフォニーホールにまつわる話など、
ここだけのとっておきエピソードをご紹介します。

vol.5 「未就学児大歓迎!」

11/26

「大阪交響楽団 の歳児からの光と映像
で楽しむオーケストラ」公演情報は、
裏表紙に掲載されております。

これは内緒なんです、実は私、オーケストラのコンサートに、幼稚園児だった息子連れて行ったことがあります。ごめんなさい。チラシには「未就学児お断り」と書いてありました。ごめんなさい。でも、少々私の話を聞いてください。

弦楽器やピアノの場合、その多くが「未就学児」から始めます。ご多分にもれずうちの子もたちもそうでした。親としては彼らの先生の演奏会などに行って、生の音楽を聞かせてやりたいと思う訳です。でも、たいていのコンサートは「未就学児お断り」の7文字が。子どもが音楽をしている家庭には、結構きつい7文字なんですよね。もちろん、子どもにクラシックは難しい。退屈。足をぶらぶらさせる。後ろを向く…。周りのお客さんは気が気ではありません。それでも、楽器を習わせている子どもなら大丈夫だろう。そう、たいていのお子さんは大丈夫なんです。でも、ごめんなさい。やってしまいました。

オーケストラが舞台に登場。客電が暗くなり、舞台の光はマックスに。長男の先生も舞台にいます。いつも普段着の先生が燕尾服を着ていて別人のようです。「カッコいい」と長男が一言つぶやきました。指揮者が拍手とともに指揮台に上がり、いよいよ始まります。長男は始めて観る光景に目を輝かせていました。これだけで連れてきた価値があるってものです。そうでしょ？

しかし、悲劇は次の瞬間に起きました。小さな渦が周囲を一気に飲み込むように広がっていくヴァイオリンに続き、ドドドドドと何かが迫り来るような打楽器の連打。ムソルグスキー「はげ山の一夜」。目を輝かせていたはずの長男は、「怖い」と言ったかと思うと、いきなり大声で「ビェ〜〜〜〜ン!!!!」と泣き出したのです。万事休す。私は耳をふさいでいる彼の口をふさぎ、抱きかかえてホールの外に出たのです。かれこれ20年近く前の話です。

「0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ」。当時、こんな楽しいコンサートがあれば良かったな～。え？大阪交響楽団さんですか？いや～、その節は長男がご迷惑をおかけしました。本当にごめんなさい。

公演の聴きどころ、豪華ゲストを招いてのお話など、名曲とともにご紹介!



堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー

ABCアナウンサー堀江政生が、豊富なクラシックの知識を余すところなく語る30分。

1008 ABC Radio

毎週日曜日
あさ7時5分～7時35分